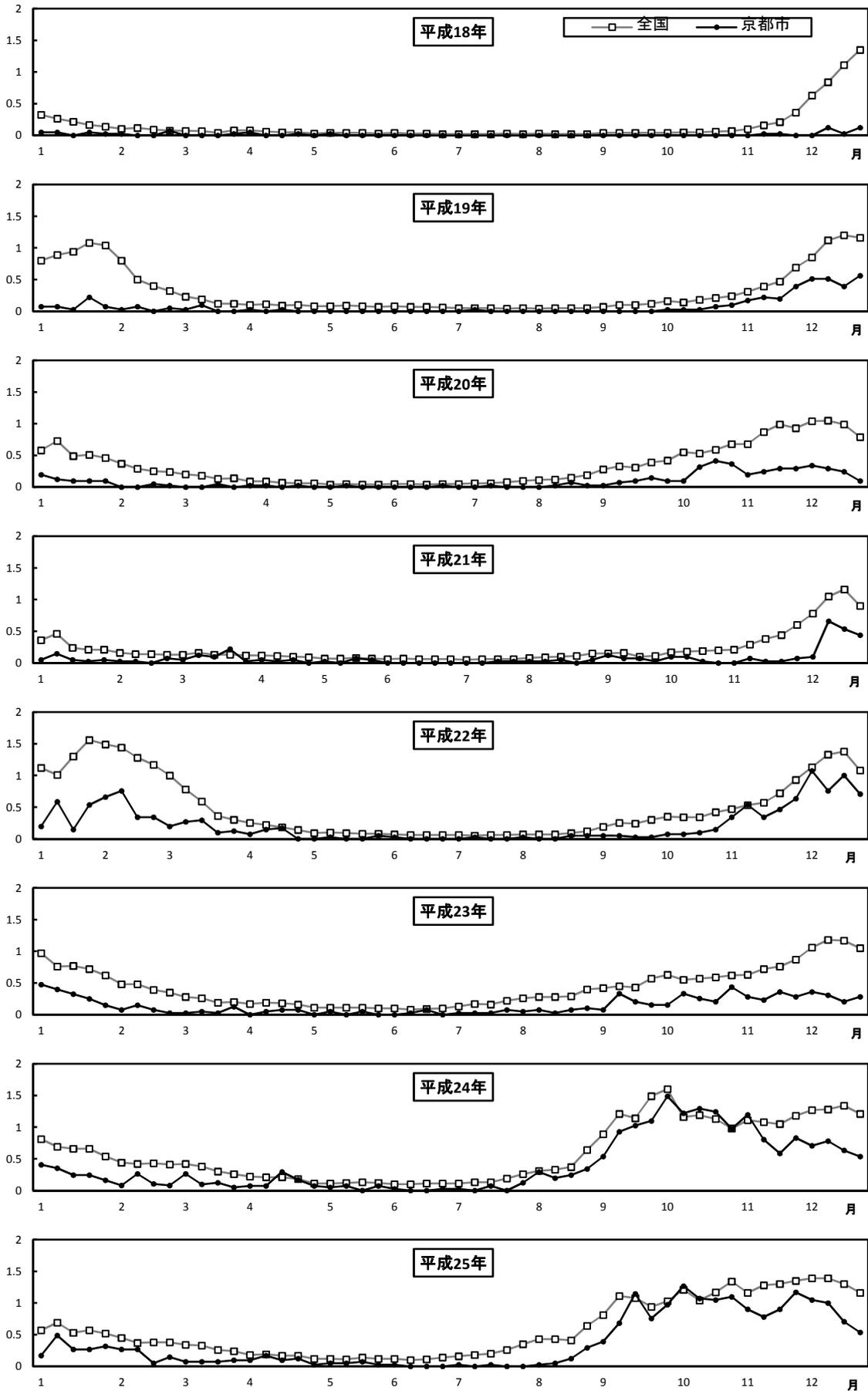


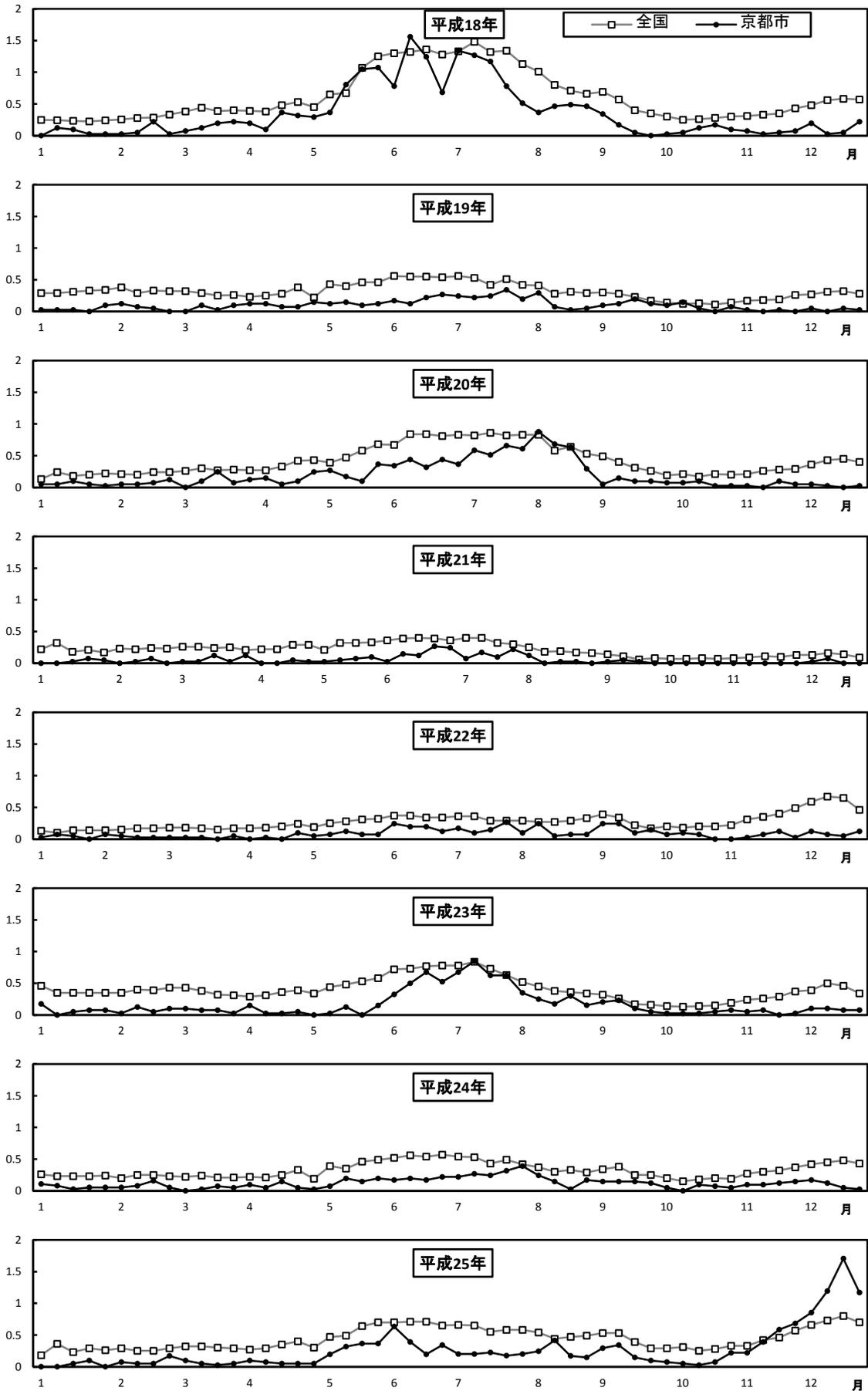
RSウイルス感染症

週別定点当たり報告数の推移

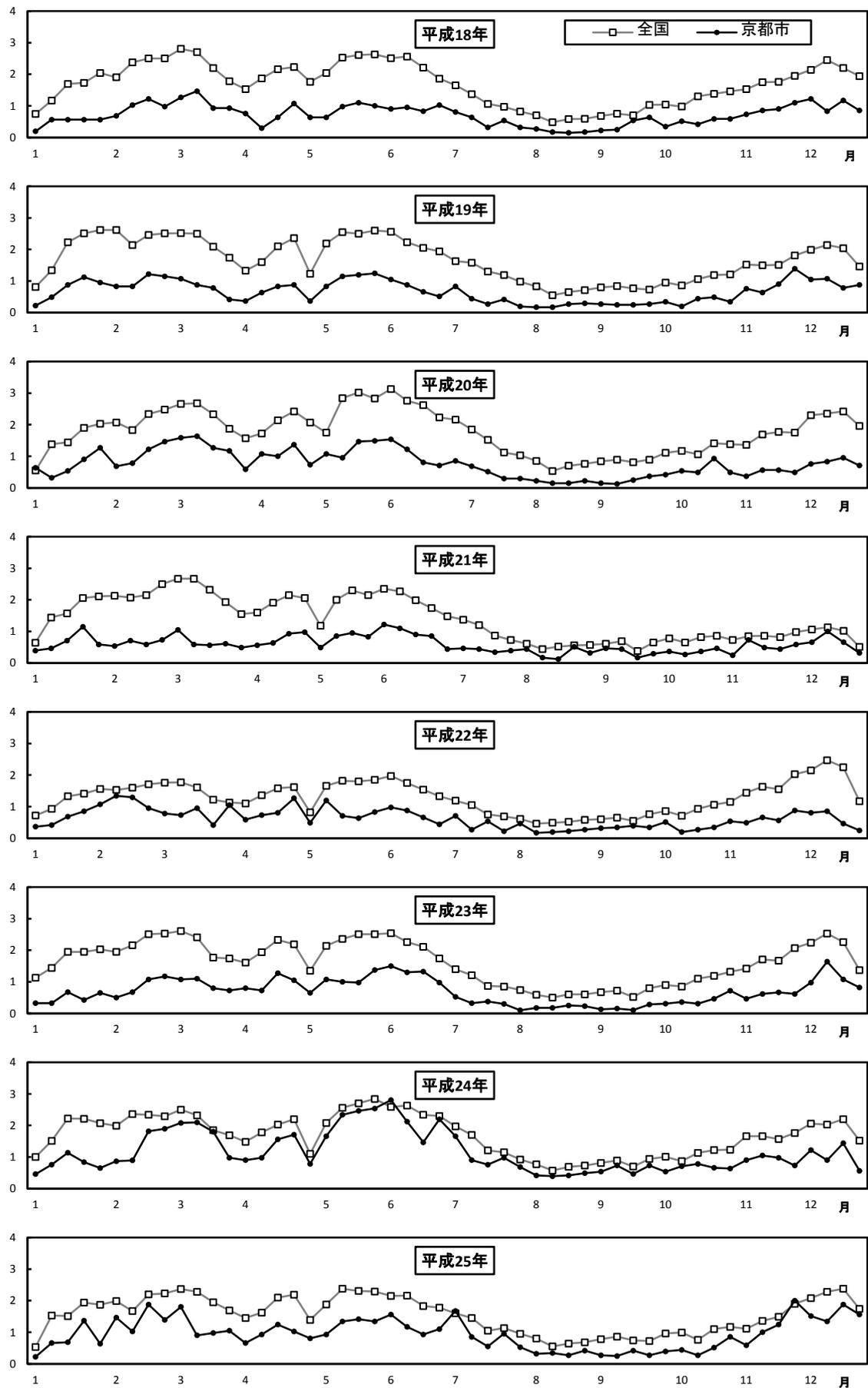


咽頭結膜熱

週別定点当たり報告数の推移

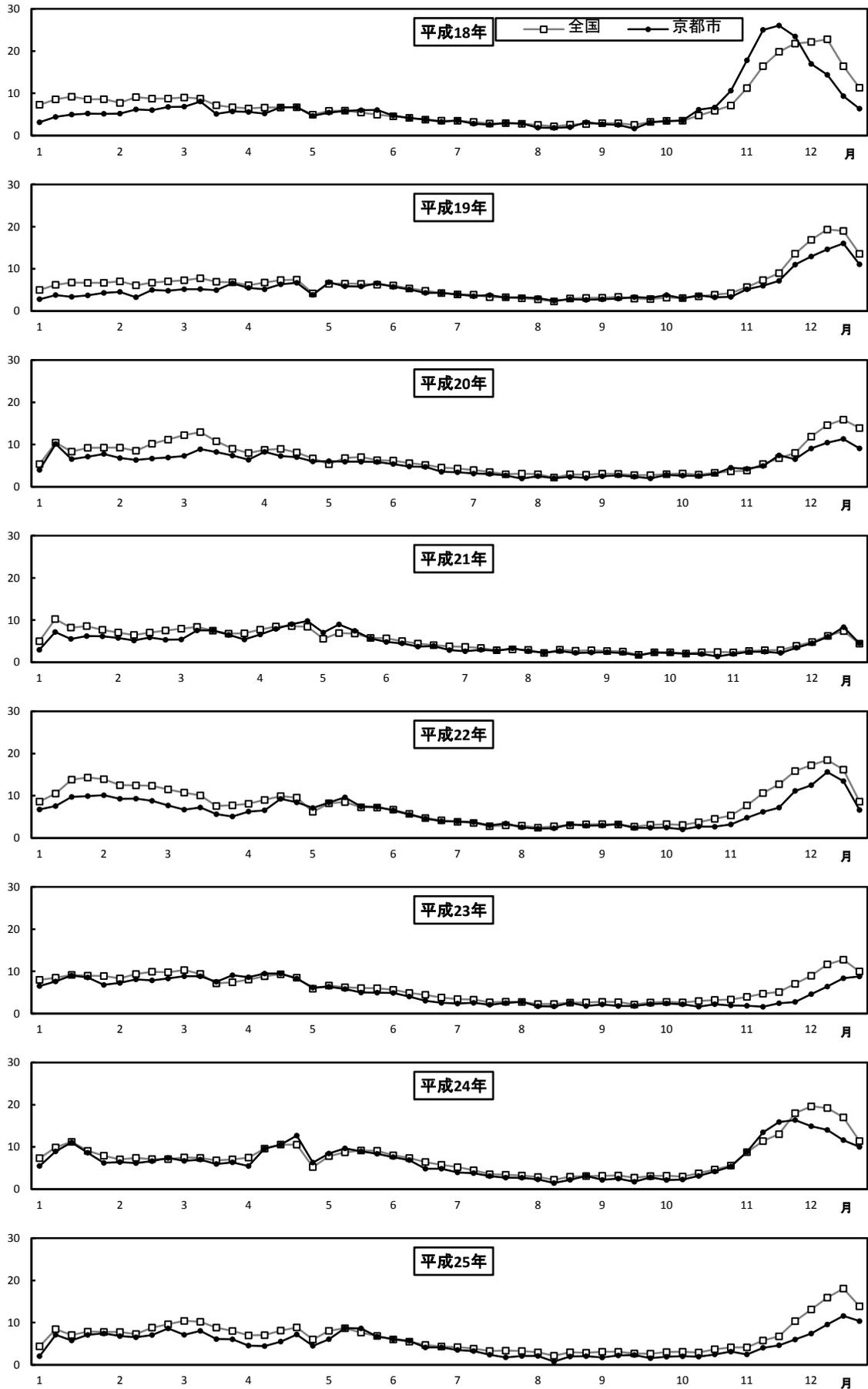


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎週別定点当たり報告数の推移



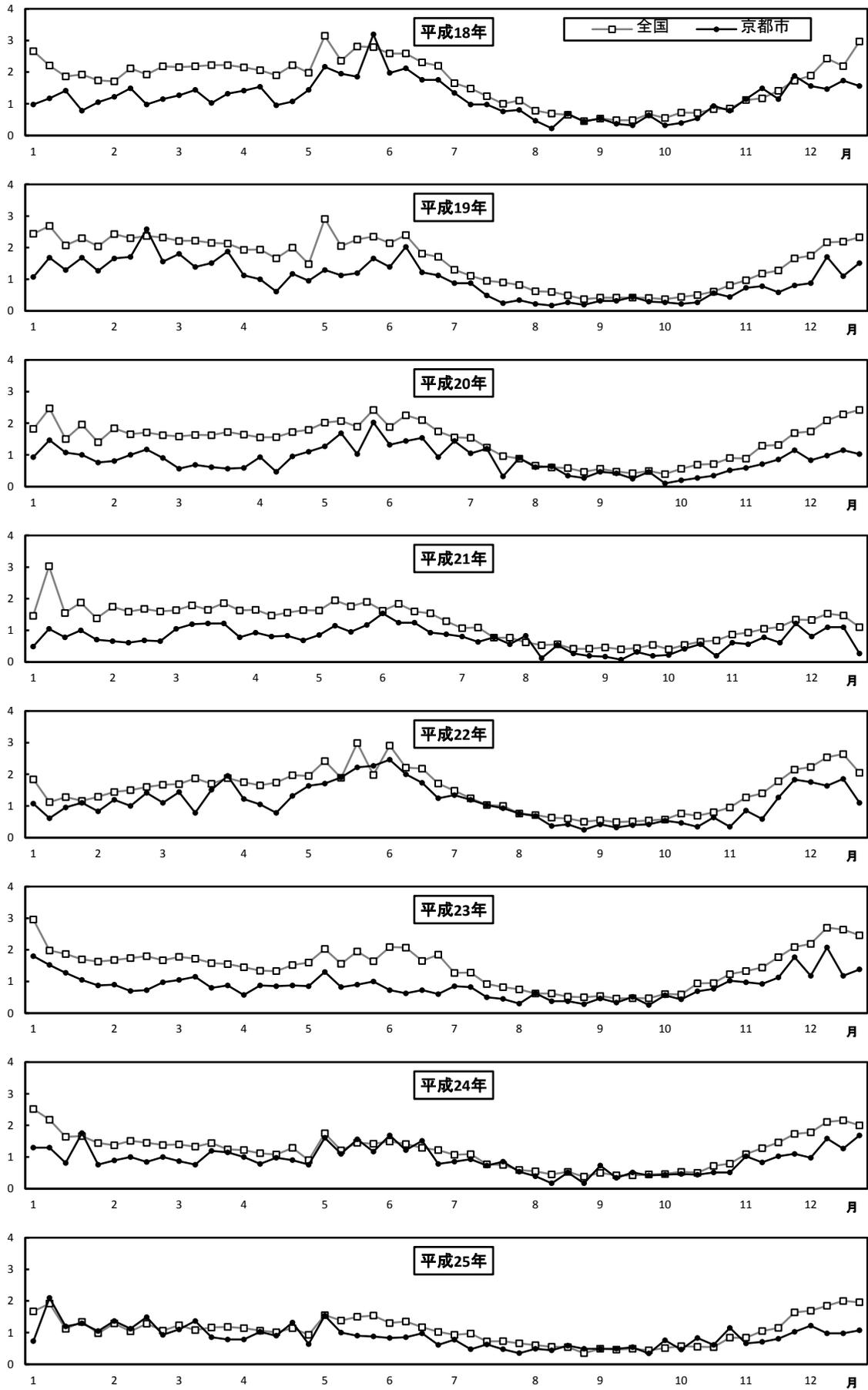
感染性胃腸炎

週別定点当たり報告数の推移



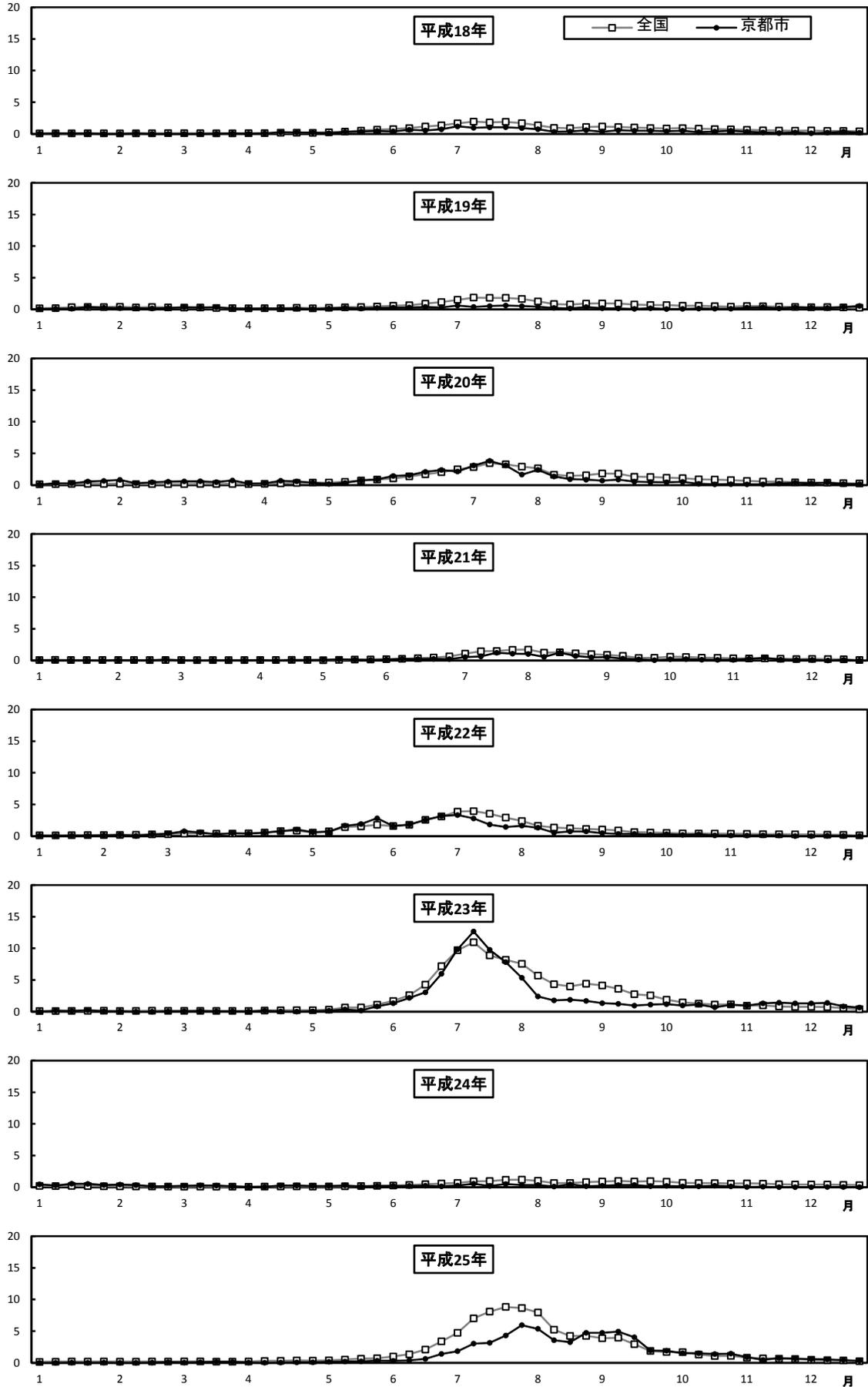
水痘

週別定点当たり報告数の推移



手足口病

週別定点当たり報告数の推移



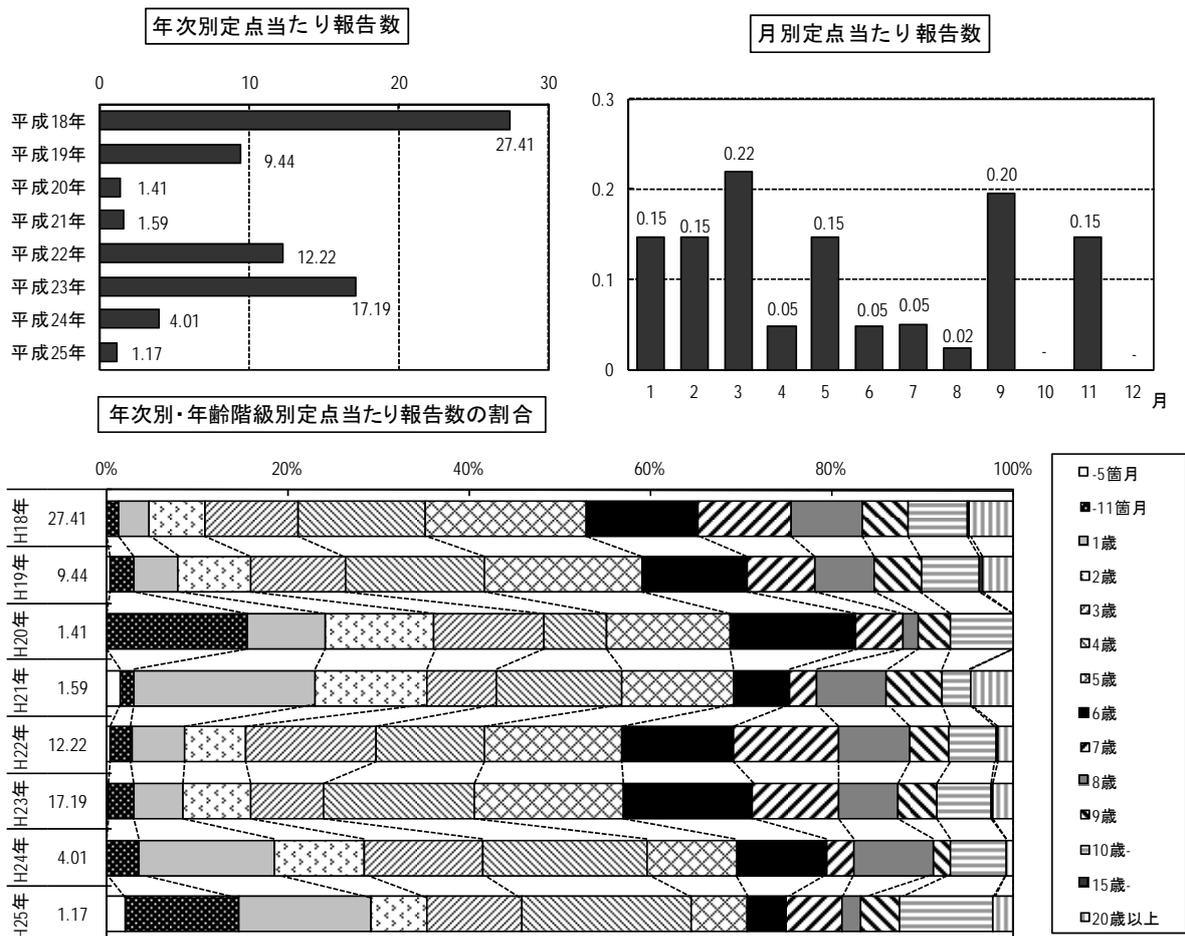
(キ) 伝染性紅斑

平成25年は年間報告数48例，年間定点当たり報告数1.17，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.16，前年比0.29であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数(1.41～27.41)と比べると，最も少なかった。

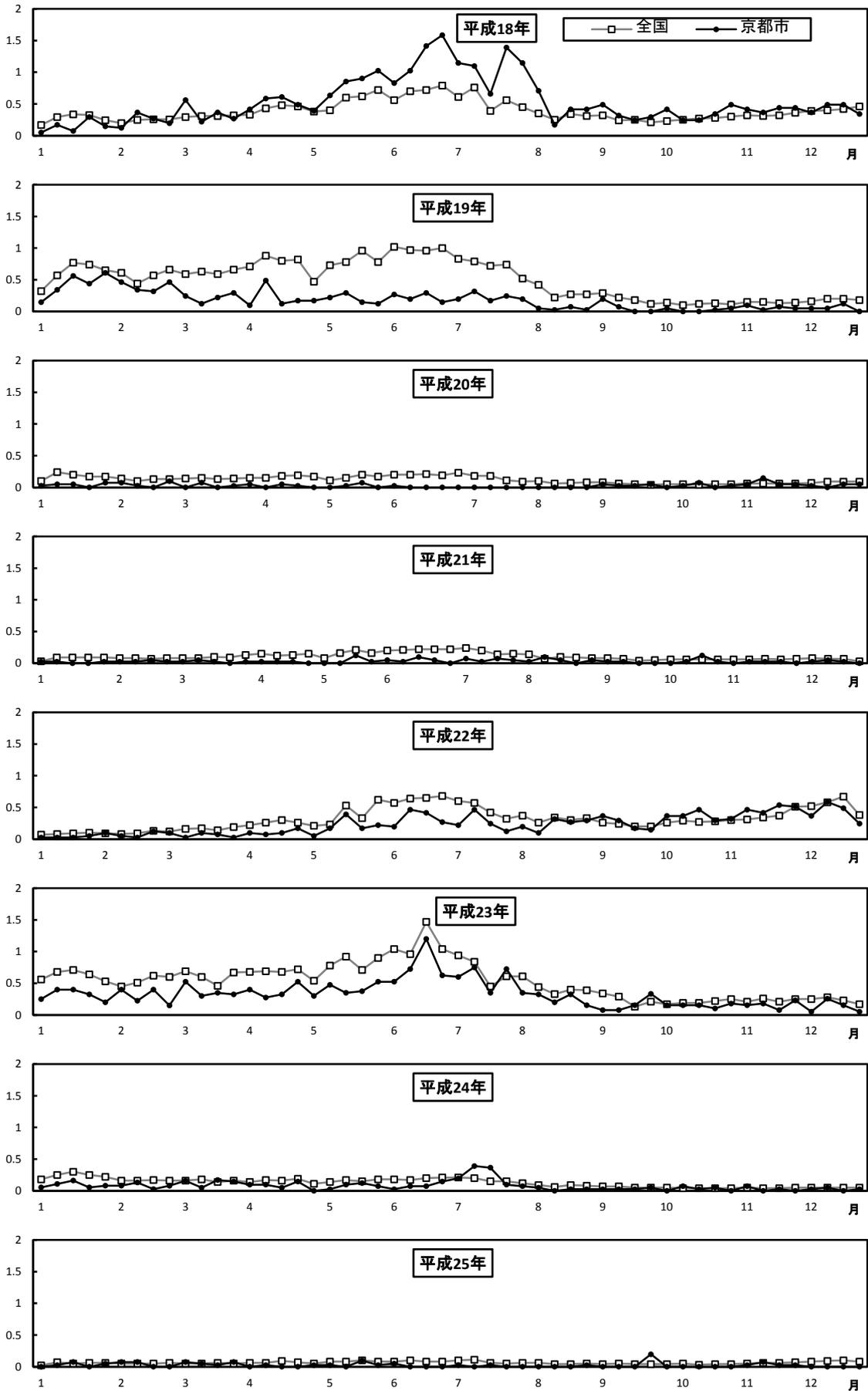
月別定点当たり報告数では3月(0.22)，9月(0.20)が多かった。

年齢階級別では4歳(18.8%)が最も多く，次いで1歳(14.5%)，6箇月～11箇月(12.8%)の順であった。



伝染性紅斑

週別定点当たり報告数の推移



(ウ) 突発性発しん

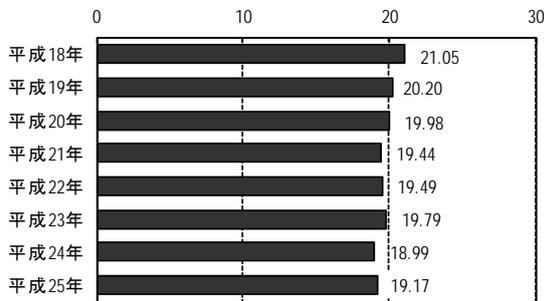
平成25年は年間報告数784例、年間定点当たり報告数19.17、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.98、前年比1.01であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数(18.99～21.05)と比べると、最も少なかった平成24年に次いで少なかった。

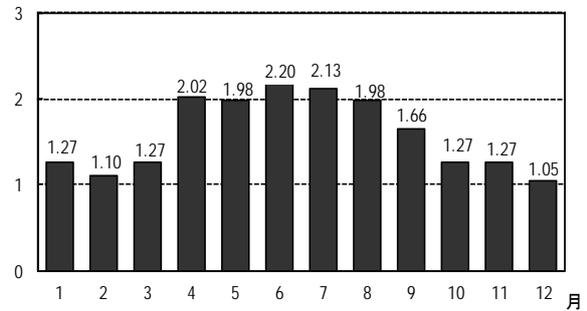
突発性発しんは、通年性の感染症で季節変動はあまりない。

年齢階級別では1歳(46.3%)が最も多く、次いで6箇月～11箇月(42.7%)の順で、1歳以下が全体の90.6%を占めた。

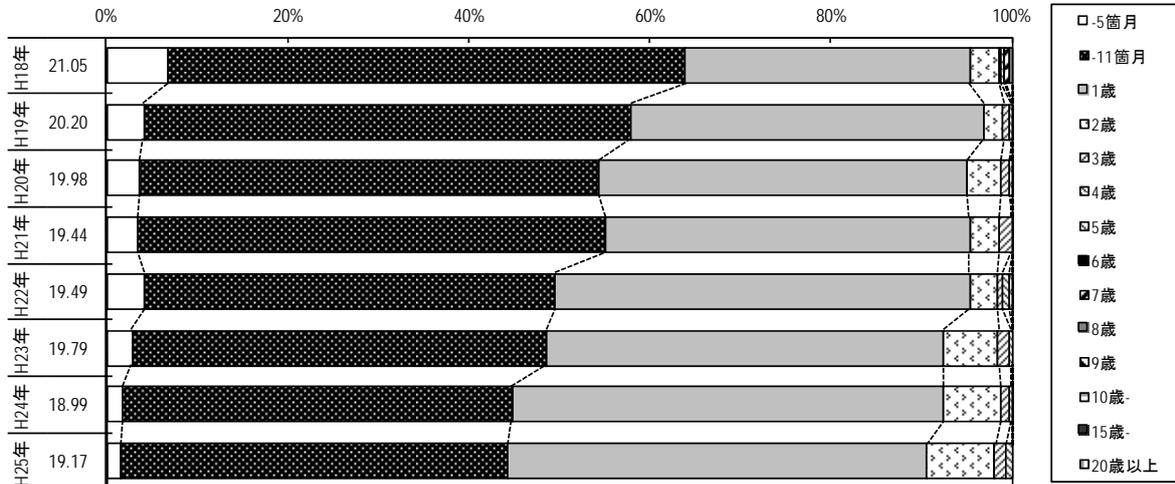
年次別定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



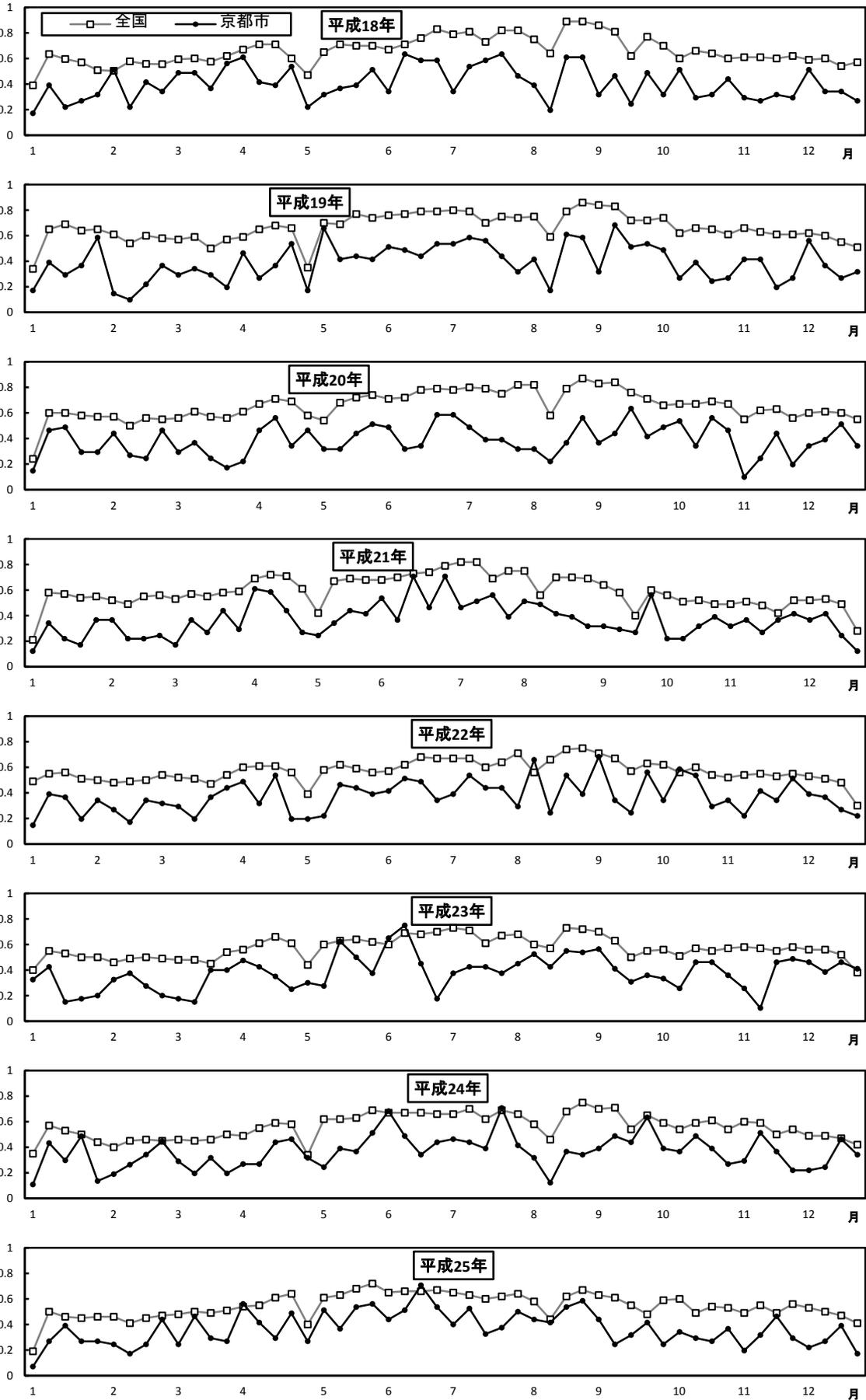
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



- 5箇月
- 11箇月
- 1歳
- 2歳
- 3歳
- 4歳
- 5歳
- 6歳
- 7歳
- 8歳
- 9歳
- 10歳
- 15歳
- 20歳以上

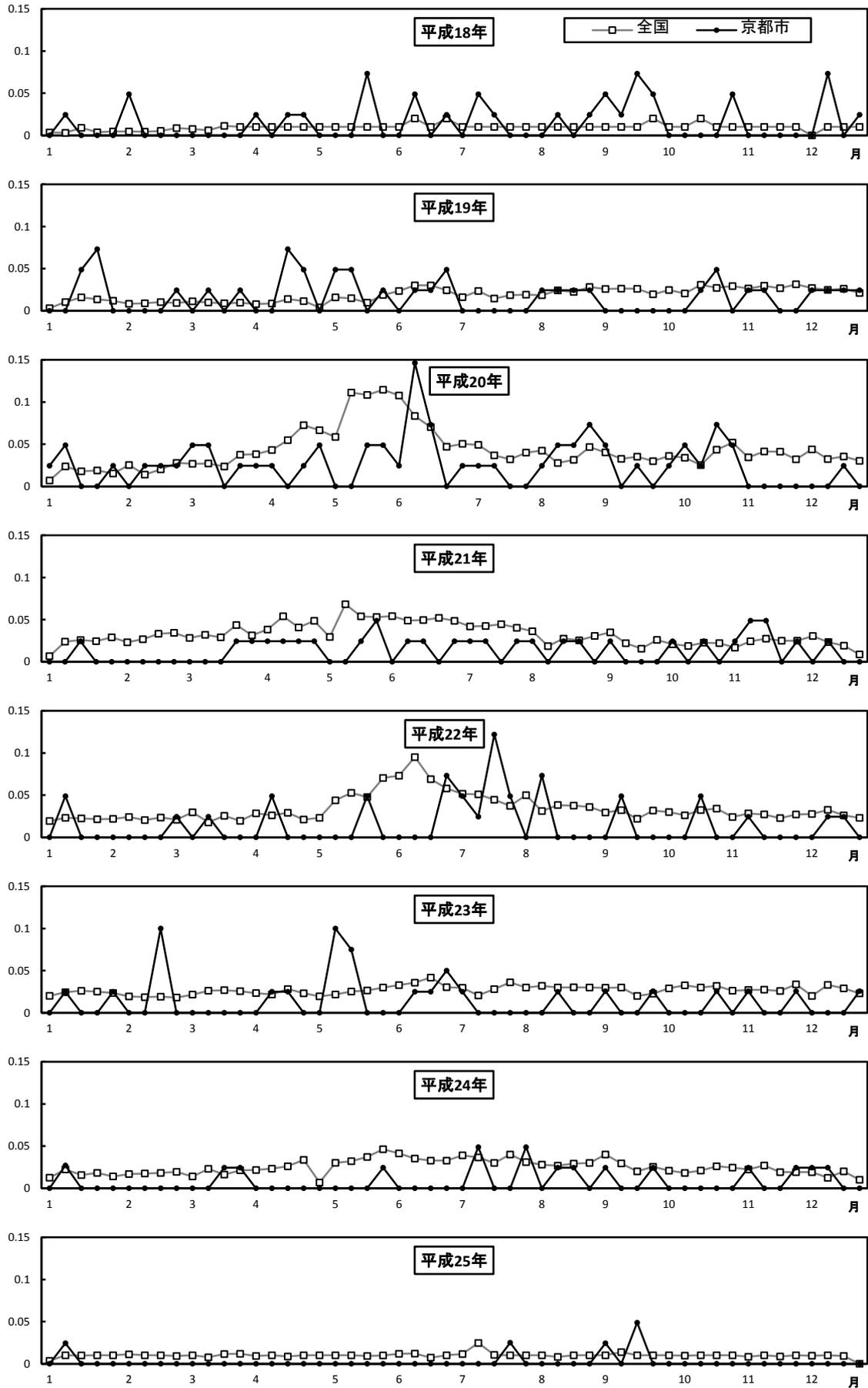
突発性発しん

週別定点当たり報告数の推移



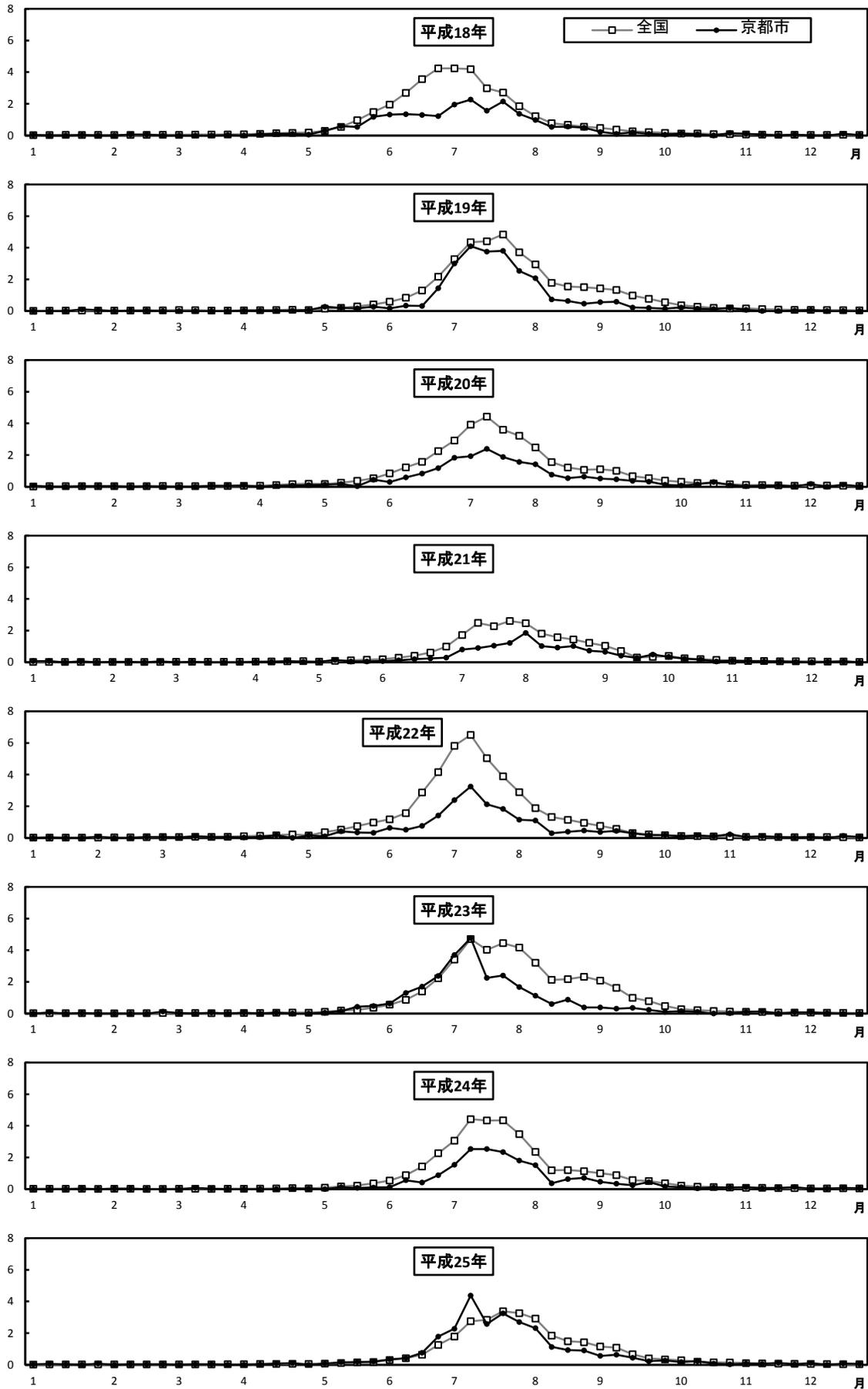
百日咳

週別定点当たり報告数の推移



ヘルパンギーナ

週別定点当たり報告数の推移



流行性耳下腺炎

週別定点当たり報告数の推移

